

特定非営利活動法人 ふくおか環境カウンセラー協会 会報

第6号 '06.8.20

特定非営利活動法人
ふくおか環境カウンセラー協会
理事長：依田 浩 敏

◆ 理事長あいさつ

会員の皆様におかれましては、日頃より環境活動に尽力されていることと思います。

活動状況については、どのように広報されていますでしょうか。チラシ、広報誌、書籍、ホームページ・・・多種多様な手段があります。最近、ホームページが重要な情報提供・収集の手段として、活用されています。大学生にレポートの課題を与えると、多くの学生は、インターネットの検索ホームページを開き、キーワードを入力し、出てきたアドレスから関連ホームページを見て、文献調査を行います。中には、情報をそのままペースト（コピー）し、レポートとして提出してくる強者もいます。一つのホームページのみの情報で文献調査を行ったとすることも問題ですが、それ以上に、単にヒット数が多いホームページが正しい情報であるとしてしまうことに問題があります。ホームページに書かれているものは情報提供者（ホームページ開設者）の意思が強く出ているものも多く、それが必ずしも「真」であるとは限りません。環境に関することは、特に真偽が明確ではない事項も多く、誤った情報を鵜呑みにしてしまう危険性もあります。

当協会では、ホームページの充実を図っていくとともに、「環境カウンセラー」ならびに同等の知識を持つ会員組織して、「真」の環境情報を提供していくようにしていかなければならないと思います。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



依田浩敏

平成 18 年度通常総会報告

去る5月28日（日）、吉塚の合同庁内、福岡県ボランティアセンターにおいて総会を行いました。遅くなりましたが報告いたします。

- 1 日 時 平成 17 年 5 月 28 日（日） 14:35～15:35
- 2 場 所 福岡市吉塚 福岡県ボランティアセンター
- 3 出席者数 社員総数 27 人のうち 21 人出席（うち委任状提出者 10 人）
- 4 審議事項
 - (1) 第 1 号議案 平成 17 年度事業報告
 - (2) 第 2 号議案 平成 17 年度収支決算報告
 - (3) 第 3 号議案 平成 17 年度監査報告
 - (4) 第 4 号議案 平成 18 年度事業計画（案）
 - (5) 第 5 号議案 平成 18 年度収支予算（案）

役員（継続）



理事長 依田 浩敏 副理事長 武藤 博昭
副理事長 津田 潔 副理事長 松井 亮二

理事 井芹 寧 理事 植木 康太
理事 北森 成治 理事 中尾 明子
理事 森本 美鈴 監事 田中 豊
監事 吉田 順子

【議事報告】

去る5月28日（日）移転間もない福岡県NPO・ボランティアセンターの会議室において松井副理事長（福岡支所長）の司会のもとに平成18年度通常総会が開催された。

依田理事長の挨拶の後、事務局から出席者22名で定足数を満たしているため総会成立の報告があり、続けて議事録署名人に依田理事長、武藤副理事長、書記に北森理事を選出した。議長に中島重徳氏を選出し議案審議に入った。

第1号議案平成17年度事業報告、第2号議案平成17年度収支決算報告、第3号議案平成17年度監査報告、第4号議案平成18年度事業計画案、第5号議案平成18年度予算案は何れも審議の結果、原案どおり承認された。続いて会員からの追加提案議案「CO₂ 6%マイナス推進市民運動」について審議した結果、調査費をつけ調査検討することが承認された。

以上をもって議案全部の審議が終了したので議長は閉会を宣言した。最後に総会の準備、運営にご尽力頂いた福岡支所会員の皆様に心からお礼申し上げます。

.....

【講演会開催報告】

総会開催に先立ち総会会場において北森理事の司会で講演会を開催しました。

日時：5月28日 14:00～15:10

講師：福岡県環境部環境政策課地球環境係長、内藤光氏
演題「福岡県地球温暖化対策推進計画について」。

（講演内容）

福岡県は平成18年3月に二酸化炭素の削減目標と具体的な省エネ行動の取組みを示した「福岡県地球温暖化対策推進計画」を公表し、6月中に概要版を作り県民に協力を呼びかけます。来年度にまたがるかもしれませんが、環境家計簿取り組み県民運動を実施し、10,000人での取り組みを計画しております。温暖化防止活動推進員の皆さまの絶大なるご協力をお願いしたい。

今回はこれに先立ちその内容を分かりやすく説明して頂きました。会員以外の方の出席もあり、また講師とも活発な質疑応答が行われ有意義な講演会となりました。

以上をもって議案全部の審議が終了したので議長は閉会を宣言し午後3時35分閉会した。

支所だより

・福岡支所

「福岡市地球温暖化防止市民協議会への参加」

18年度事業件名「各市町村の温暖化対策推進法による地球温暖化対策地域協議会への参

画と活動の支援」活動の一環として同法による「福岡市地球温暖化防止市民協議会」に加入しました。

当協議会には、福岡市及び企業、NPO等130団体が加入しており18年度総会にて「事業者・業務部会」と「地域・生活部会」が制定され「地域・生活部会」の部会長に当協会会員の吉田順子カウンセラーが選出され活動が始まりました。

福岡市にお住まいの協会会員全員で支援したいと思います。

皆様のご協力宜しく申し上げます。

福岡支所長 松井亮二

・北九州支所

「緑のものしり博士号」

去る6月3日～4日、北九州市環境ミュージアム未来ホテルデーにおきまして、「緑のものしり博士号」チャレンジクイズを出展しました。美しい大型パネルをよく見て、よく読んで、楽しく学び、感動するプログラムに参加者はひきつけられました。小・中・大学・若いカップル・家族連れの皆様、124名がチャレンジしました。パネルにくぎづけの人、館内のライブラリーに調べに行く人、説明をよく聞く人、家族で話し合ってる人、2日目に博士号をゲットした人など、一生懸命さと達成した喜びの笑顔を見ました。また、学校の先生ですか・・・、市の職員ですか・・・、植物の専門家・・・などの声をかけられました。2日間、やってよかったという満足感と共に大自然の美しさ・恵み、命の大切さのメッセージを伝えることができ、快い爽やかな雰囲気の中に幕を閉じました。これからは、恵み・豊かな環境を守って、次の世代に引き継いでいくためには、地域の皆様と連携を図りながら共に手を携えて持続可能な地域の実現を目指していきたいと思っております。

北九州支所長 津田 潔

福岡県温暖化防止活動推進員活動報告

福岡県では「地球温暖化対策の推進に関する法律」第23項1項に基づき、知事より委嘱を受けた107名の地球温暖化防止活動推進員が平成17年より活動を開始しています。

今年の主な事業は

1. 3回の研修。

自己啓発ということで7月の講義と9月の現場視察と10月の実践研修。環境教育プログラム集作成を目標に一丸となって勉強をしています。

2. エコライフ市民学習会開催支援

県下4箇所で行なう学習会への参加者を募ったり、内容を盛り上げてゆきます。

3. 省エネ家電買換えキャンペーン支援活動

協力してもらえる市民を公募すると共に協力家電店での普及啓発活動もやります。

4. 暮らしの温暖化対策診断支援

希望される県民の方に毎日の生活の中でのエネルギー使用状況を評価したり、アドバイスを行なっています。

（文責：植木）



みんなで止めよう温暖化

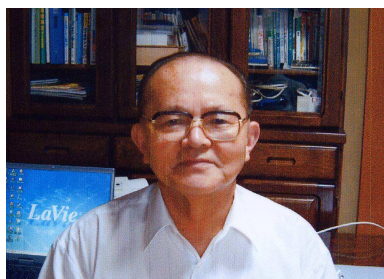
チーム・マイナス6%

ECU（環境カウンセラー全国連合会）・九州カウンセラー協会だより

第二回は、ECU（環境カウンセラー全国連合会）前九州幹事の松浦茂雄さまのご挨拶をいただきました。

環境カウンセラーに期待されていることなど

NPO法人 九州環境カウンセラー協会
理事長 松浦 茂雄



平成8年に環境庁（当時）告示によって環境カウンセラー制度が導入されて今年は10周年を迎えます。当協会が平成9年5月30日に全国で最初に任意団体として発足した事を思いますと感無量です。当時15人でスタートした組織は一時78人にまで増加し、九州一円を活動の場に設定して、各自の持分に応じた環境保全活動を展開してまいりました。昨年10月にNPO

法人として登録され現在57名で事業者部門の主たる活動として中小事業者に対する環境経営システム「エコアクション21」の普及及び認証登録支援活動を展開しております。

先月6月27日東京で「NPO法人環境カウンセラー全国連合会（通称NPO-ECU）」の通常総会に参加しました。本年が役員改選の時期に当り、九州ブロック協議会会長として当協会副理事長 横大路照男氏が新しい理事（常任理事）として中央と九州地区との連携を蜜に活動を展開する事になりました。

総会の付帯業務として、環境省から標記の「環境カウンセラーに期待すること」として環境教育が重点事業として展開される事が報告されました。

ESD（Education for Sustainable Development）の10年として、持続可能な開発の実現のために必要な環境教育への取組みが積極的に展開される機運です。

持続可能な開発を実現するために一人一人が互いに協力しながら、夫々の分に応じた課題に取り組む事が必要であり、その導入・支援・教育に卓越した知識・経験を持つ環境カウンセラーの活動が求められております。

環境省九州地方環境事務所における国と地方との新たな協働を軸として、九州ブロックにおける各カウンセラー組織の取組みを通して、地域活動における環境教育のコーディネーターとしての活躍が期待されております。

新たに熊本市に設置される地方環境パートナーシッププラザを活用しながら、九州地区の環境保全活動が展開され、地球温暖化対策や省エネ・省資源活動を通じて持続可能な社会が実現し次世代への発展が約束される事が重要です。

末文ですが貴協会のご発展と協働を祈念して、今後とも宜しくお願い致します。

トピックス

「我が家の環境大臣」登録団体の活動支援に環境カウンセラーを派遣

「我が家の環境大臣全国事務局」から団体登録している当協会に団体または、構成員の

家族ぐるみの自発的・継続的な環境教育や環境保全などの活動を支援するため、エコライフサポーターを派遣するとの連絡が来ました。（申請要）

エコライフサポーターは環境省（九州地方環境事務所）が登録している環境カウンセラーより選出されます。

当協会員は両方に係わりがありますので九州地方環境事務所に協力を提案することとします。

なお、詳細については全会員に郵送します。応募してください

我が家の環境大臣事務局 松井理事

会 員 自 己 紹 介（名簿の順に4人ずつ紹介してゆきます）

荒木 正信（あらかき まさのぶ）です。 福岡市南区

グリーン購入ネットワークと協働パートナーシップについて

皆さんこんにちは、産廃物問題3R活動、地球温暖化防止活動、環境負荷低減活動や環境保全活動に、また、グリーン購入ご支援、環境カウンセラーとしてご活躍に感謝お礼申し上げます。

さて、地球環境問題は、地球温暖化、資源の枯渇、廃棄物の増大、環境汚染、有害物質問題、自然環境破壊など、国際的に深刻な状態であり、「大量生産・大量消費・大量廃棄」を背景とした、使い捨て廃棄型の破壊拡大成長社会システムから、持続可能な開発、安定成長と環境と社会、環境と事業者が共生可能な循環型社会システムの構築する必要に迫られています。

グリーン購入ネットワーク(GPN)は、持続可能な、循環型社会構築形成を目的に穏やかなネットワークとして、1966年2月に設立され、2006年2月で満10年を迎えました。

GPNの会員は現在2845団体(企業2845、行政297、民間団体282)となりました。GPNの支部的な役割を果たす地域ネットワークも、滋賀県・三重県・宮城県・京都府で設立されています。GPNでは地域での活動を広げるため全国各地で地域ネットワークの設立を支援しています、埼玉県や九州(福岡県)などでも地域ネットワークの設立を検討しています。

また、GPNでは国際的なグリーン購入の普及にも積極的に取り組んでおり、2004年10月には、宮城県仙台市において「グリーン購入の環による世界市場のグリーン化を目指して」をテーマに、第1回グリーン購入世界会議 in 仙台を開催し、国際的な地球環境保全を進める有効な手段として「グリーン購入仙台宣言」が採択されました。その宣言に謳われた、国際的なグリーン購入を推進する組織として国際グリーン購入ネットワーク(IGPN)の設立には、GPNが中心的な役割を果たしております。EU諸国・米国始めアジアにおいても、既に韓国・マレーシア、タイ、中国でGPNが設立されたほか、インドなどでも設立が予定されており、国際的な活動が本格化しております。

環境に配慮した環境配慮製品やサービスを優先的に購入する「グリーン購入」が普及する

ことで、「グリーンな市場」が拡大し、ひいては市場を通じて企業に「グリーンな製品・サービス」の開発を促し、環境を考えた経営を促進することに繋がります。また、グリーン購入に取り組むことで、使用時のエネルギーや資源の消費を低減し、廃棄物の発生を抑えるなど、組織や家庭における環境負荷低減を進めることができます。2001年4月にはグリーン購入法が施行され、行政機関や公共団体をはじめ、企業・民間団体においてもグリーン購入への取り組みが活発化しています。市場に与える影響が大きいことから、その効果も大きく期待されています。

グリーン購入活動は、行政、企業、民間団体、消費者を含めた地域社会全体で取り組むことで、環境負荷低減し、省資源、省エネ、地球温暖化防止、3R推進、廃棄物削減、地産地消など、持続可能な社会の構築に有効な手段となります。

現在、環境に関する取り組みは、様々な主体が地域行政の枠を超えた連携や協働が進んでいます。企業や市民団体は市民の目線で問題を把握、解決のためのネットワークのよさを有し、行政は公共性と信頼を特長として、廃棄物問題、環境教育、住民への普及啓発、人材交流、情報の共有化などにおいて成果があらわれてきております。一昨年、東海地域知事会の意向で、愛知県、三重県、岐阜県、名古屋市の3県1市による、詰替え商品の広域グリーン購入統一キャンペーンを行政と企業・消費者などが一体となり実施されました、今後も広域なグリーン購入統一キャンペーン継続されることになっています。また、南九州において、熊本県、宮崎県、鹿児島県の3県でのリユースRびん促進事業が民間団体、行政、企業、県会議市会議員、消費者との広域な連携により進められています。活動当初、焼酎醸造メーカーは1社であったのが現時は8社が参加し、確実に成果は表れて会員の意識益々、向上しています。

各地の行政は市民・民間団体・企業との、連携に始まり今では、協働によるパートナーシップ、民意反映の共同体意識による運営に変わりつつありますが。協働に、市民も行政も企業も共に苦労し、汗を出し、地域差はありますが環境問題の意識向上とともに、個々のライフスタイルにあった環境行動も最近数多く見受けられ、成果として表れてきました。成功の事例から見てパートナーシップの有り方について、(会員諸兄には当り前のことと思われませんが)再認識を致しています。グリーン購入を主軸とした環境負荷低減活動に携わり一期一会多くの関係者に恵まれ感謝致しています。これからますます精進し環境保全に努めたいと考える今日このごろです。

井芹 寧 (いせり やすし) 49歳 ♂です。 太宰府市

今、大学や学会とコンサルタント、NPO(任意団体)間のパートナーシップの形成に日々努力しています。わが国でもNPOが大学と競えるぐらいの学術的内容の成果を上げていけるような体制を構築するのが夢です。現在は、手を広げすぎて、各所への対応が中途半端となりご迷惑をかけていることが悩みです。同志募集中です。

本人の生息範囲は干潟、藻場、川、ダム湖で、たまに人間社会にも出没しています。アオコさんや赤潮君などの小さな生物とまいにち語り合う生活を送っております。

なお、所属学会は日本陸水学会、土木学会(環境水理部会委員)、ダム工学会、応用生態工学会、水産工学会、日本水環境学会、環境技術学会。

現在パートナーシップ形成挑戦中の大学等の研究機関は、鹿児島大学水産学部、宮崎大学工学部、九州大学工学部、九州大学総理工、九州大学農学部、九州産業大学工学部、九州工

業大学工学部，愛媛大学農学部，山口大学工学部，大阪教育大学，三重大学水産学部，信州大学理学部，東京大学工学部，埼玉大学工学部，東北大学工学部，総合地球環境学研究所，港湾空港技術研究所，電力中央研究所などです。これらの機関やアオコさんなどに問い合わせをしたい，関係を持ちたいと思っられている方は声をかけてください。

植木 康太（うえき こうた）です。 田川市

S25年、田川市生まれ。18歳から20年間東京暮らし。平成元年、田川にUターン。

まちづくりに目覚め、田川未来塾、福岡県立大学と共に歩む会、遠賀川流域住民交流会創設。ボランティアが忙しくなり、かつ、役所でのまちづくりに限界を感じ、辞職。15年の統一地方選で市議に。環境基本条例を制定し、全ての行政施策、市民活動のベースに「環境」を置くための意識改革に取り組み中！

神幸祭ポイ捨てよそうキャンペーン、環境キャンペーン「えんとつライブ（炭坑節の煙突の下）（昔 野音河遊 もっと昔 川は友達）など楽しい事業を展開中！1妻1姫1太郎、1ババ付き。趣味はヨット（ラジコン）、フォーレやバッハなどの音楽鑑賞、職歴：東京都庁職員→田川市職員→H15より田川市議会議員。

技術士（水道部門（下水道））、環境省環境カウンセラー（1996240001）、スキーSAJ2級

Tel：0947-45-059 [ホームページ：http://mirai.sa-ba.jp/](http://mirai.sa-ba.jp/)

河野 壽行（かわの ひさゆき）です。 北九州市八幡西区

福岡県立高校の生物担当教員として勤務、平成9年3月玄海高校長を最後に退職。在職中から森林破壊や身近な環境の悪化を懸念し森林や緑化樹の保全について学び、平成9年に樹木医、15年に環境カウンセラーの資格取得。その間平成9年～15年には久留米高専、15年から九州環境福祉医療専門学校の非常勤講師として生物・環境測定技術等を担当。傍ら、保存樹や街路樹の診断・治療のほか、庭木手入れの講習会や環境学習会の講師として、森林の機能や管理等について講話や実技指導に関わっている。

今後も機会があれば樹木医の技能を活かして森林・緑化樹の機能の啓発や管理技術及び身近な環境測定技術の普及に努めたい。

活動報告

うっそ～！ 今年も

川渡り神幸祭 ポイ捨てよそうキャンペーン 2006 終える



また、また、また、川渡り神幸祭が終わった。

伊田小学生全員の可愛い、
と言うより、ゴミ箱にするのが
勿体無い素晴らしい絵が描



かれたダンボール製「護美箱」でクリーンな神幸祭が実現できました……。



そうなのです。苦心の末、改良に改良を重ねた400個の特製ダンボール製ゴミ箱と、田川市職員等の延べ400名を超えるボランティアの威力。

FIT、田川商業高校生、そして田川未来塾のゴミ箱管理ボランティアの方々、本当にご苦労様でした。

本当に来年こそは神幸祭の主催者や市、露天商とも協力し合って清潔な神幸祭を再現したいものです。

田川未来塾

事務局だより

◆ 会費納入のお願い

「ふくおか環境カウンセラー協会」は会員の皆様の会費で運営されています。平成18年度会費未納の方は至急納入してください。振込先：郵便貯金総合通帳「ぱるる」

記号 17410 番号：75552581 名前：福岡環境カウンセラー協会

◆ 準会員の募集

身近に当協会の趣旨に賛同される方がおられましたら「準会員」としてご入会されるように勧誘してください。定款等は事務局よりお届けします。

◆ ホームページ掲示板の閉鎖、再開

ホームページの掲示板、いたずら書きのひどさに流石の担当もダウン、一旦閉鎖しましたが、英語での入力拒否など、少し改良して再開しました。どんどん情報発信してください。また、メーリングリストもご活用下さい。福岡県 NPO・ボランティアセンター (<http://www.nvc.pref.fukuoka.lg.jp/index.asp>) などのホームページでも情報発信は出来ます。

◆ 編集後記： （文責：植木）

今年の夏は本当に暑い。世間の灰汁を押し流してゆくような大雨がやっとな上がったかと思いきや、灼熱地獄が始まった。35℃は何のその、夏暖房完備のわが軽トラこと、未来塾号にいたっては40度を越している。朝の部屋の中でPCに向っているだけでもジタ〜と汗が噴出してくる。3つの台風の関係でフェーン現象的なものが起こっていると聞き及ぶも、とにかく朝からクーラー無しで居られないのは今年が初めて。クーラーの中で、家内に近くの商店街での買い物は車を使うなど怒鳴り散らかしている日々、私たちに温暖化が止められるのでしょうか？ **特定非営利活動法人ふくおか環境カウンセラー協会 会報 第6号**

発行日 平成18年8月20日

発行 特定非営利活動法人 ふくおか環境カウンセラー協会

発行責任者 依田 浩敏 編集者 植木 康太

事務局 武藤 博昭

〒818-0110 太宰府市御笠1-6-18

TEL/FAX 092-925-5344

<http://fukkan.sa-ba.jp/>